

任意団体

「シニア・ハマ・カレッジ」

運営委員会

設立2010.12. 活動紹介

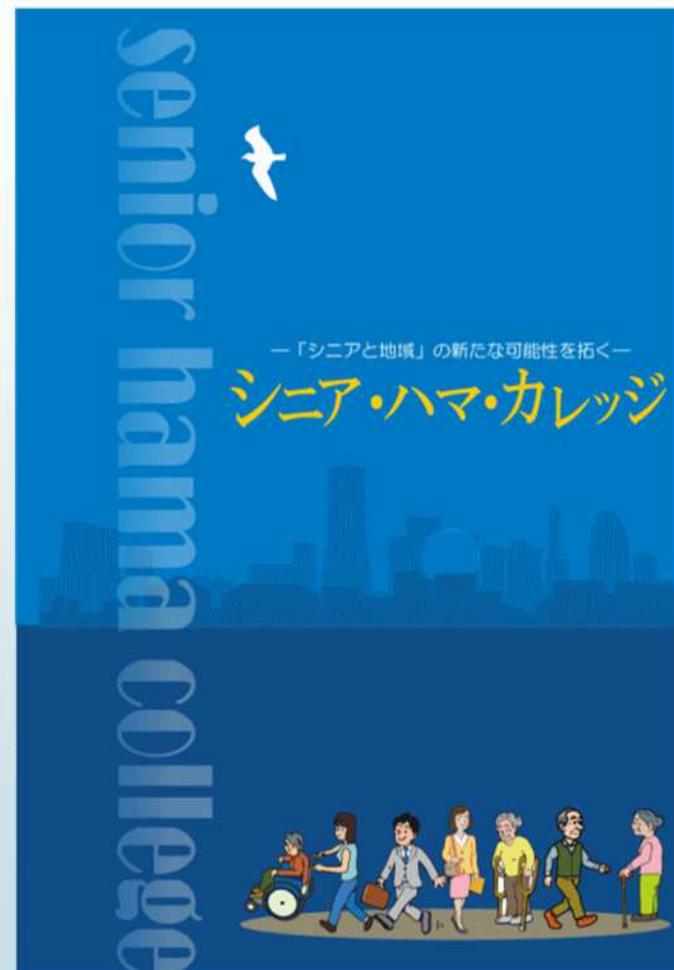
暮らしに欠かせない学習の機会を提供すると共に、高齢者が相互に支援し合う地域福祉支援活動の実現に取り組んできました。

多くのシニアが無理なく参画できるよう支援し、これまで、述べ1000人を超える「20代～90代」男女が参加。多様な活動人材輩出の場ともなりました。

1



2012(平成24)年9月一周年シンポ



平成24年度戸塚区区民企画運営講座事業
高齢期の安心と楽しさをつかむ講座 第2弾！
シニア生活学講座 (2012)



2024.10 かながわSDGsパートナー/承認団体

みんなのSDGs

企業規模：任意団体／業種：社会教育・福祉教育／地域：横浜地域

健康寿命を延ばす「楽しい居場所と出番」のつかみ方 (任意団体「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会)

取組の概要

100歳時代の高齢者の生涯活躍を支援する活動。
SDGs-3「高齢者福祉支援」-4「社会教育」-5「ジェンダー平等」を実現する「超高齢社会の地域共生社会づくり」を目的としている。リタイア後の長いセカンドライフの生き方啓発、公開講座提供、地域人材育成、交流実績多。

該当するSDGs目標 (3つまで)



取組を始めた動機・課題

国家資格、学会認定資格を有する代表が発起人。超高齢社会の生涯活躍支援を実現するために平成22年に設立。以来およそ延べ1,000人超の受講者・人材輩出（コロナ前迄）課題：公的支援制度の廃止・後退。コロナ禍自粛で、地域の様相が激変。本年1月公開再開⇒参加啓発・規模面。

解決に向けた具体策と成果

「活動助成金応募⇒採択」。複数区の社協、区民活動支援センターに団体再登録承認を得て、活動地域居場所拡大、チラシ配架先拡大を図った。

取組による定量的な効果

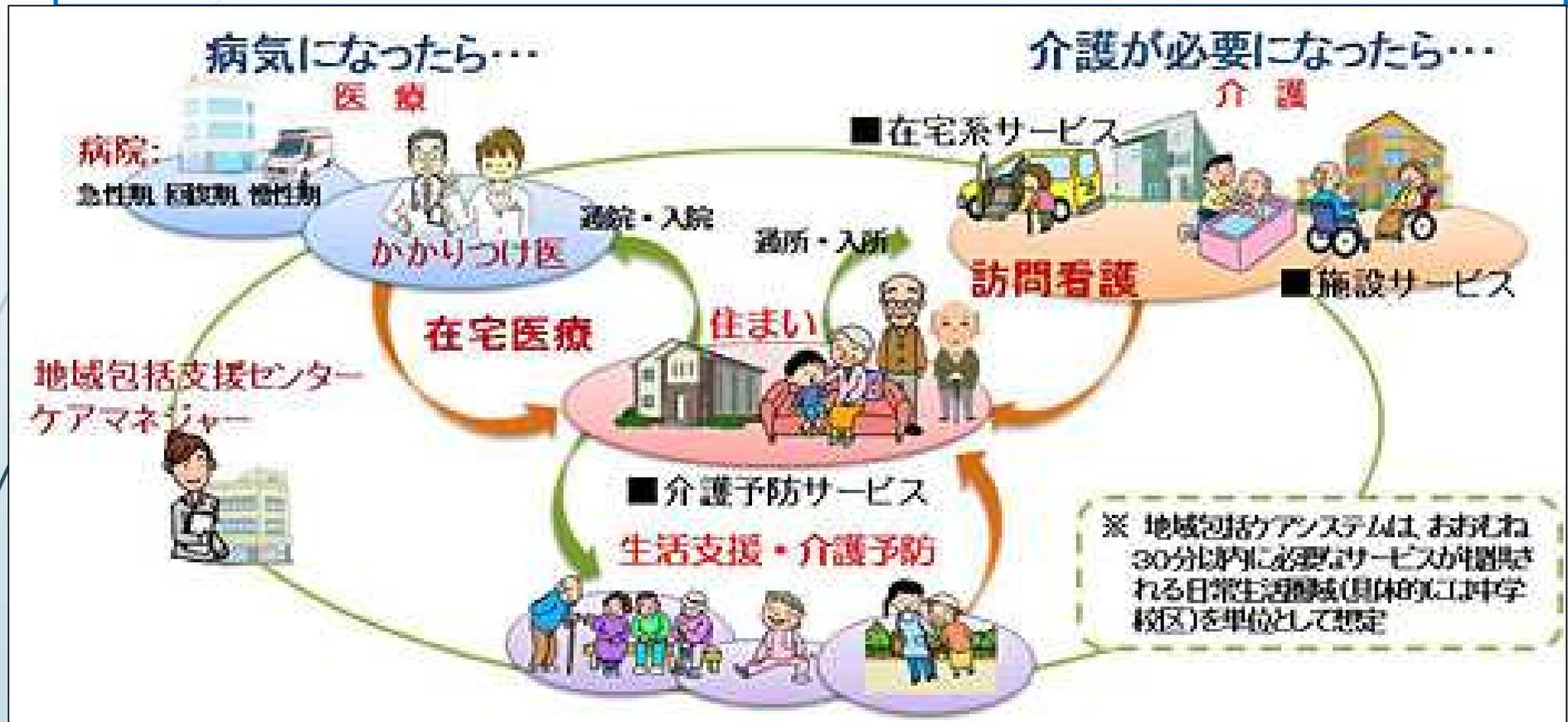
公共施設利用団体承認先12。研究資金系活動助成金採択成功。今年既に公開事業4回実施。アンケート結果・成果大。

取組のポイント

「公共の活動・明確なSDGs目標」を説明、「貴方の経験と知識は地域の宝」と呼びかけ、地域活動の楽しさ紹介。

SDGs-3 すべての人に健康と福祉を 学習の機会提供・システム推進に貢献する専門知識習得と実践行動の育成

図：厚生労働省ホームページより

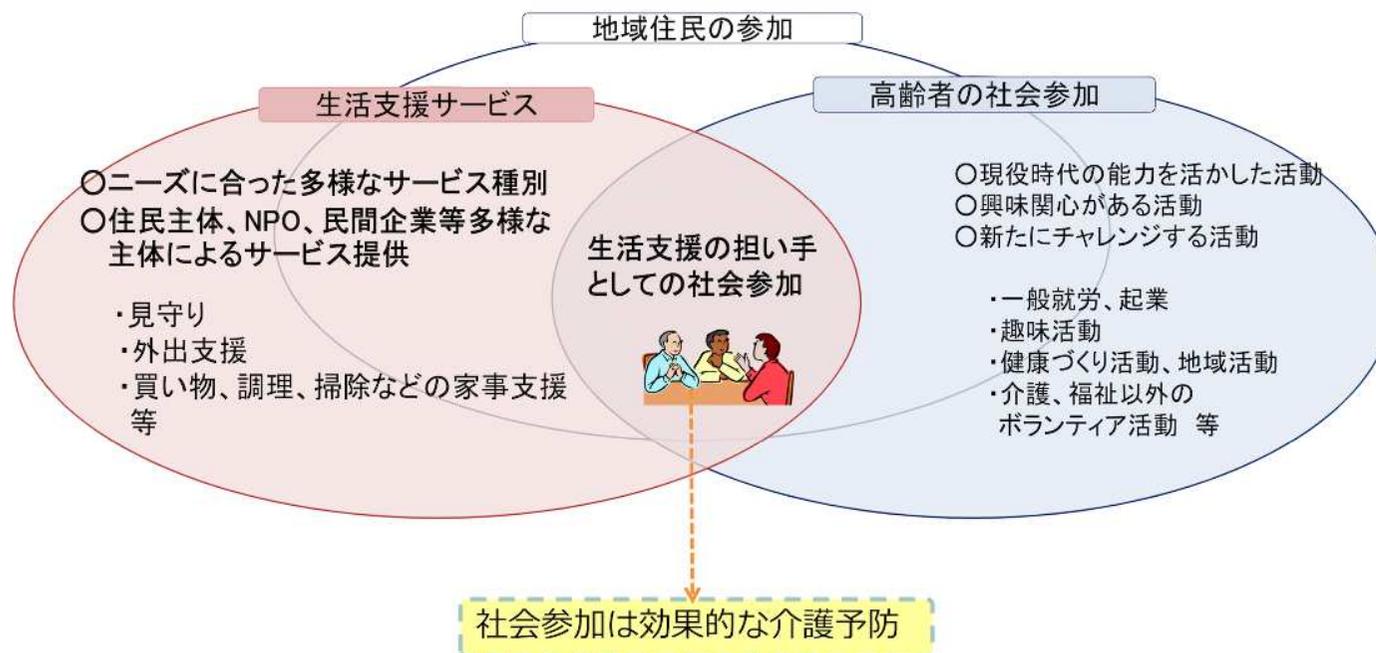


定年後のライフデザイン・高齢者の社会参加【厚生労働省公開資料より引用】

団塊世代(1947～1949年生)が全員75歳以上を迎える2025年に向けて
地域包括ケアシステムの更なる深化・推進について P. 187

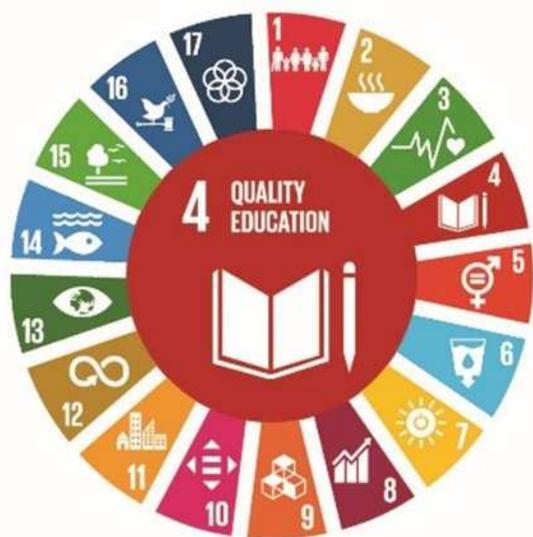
生活支援サービスの充実と高齢者の社会参加

- 高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくためには、生活支援サービスと高齢者自身の社会参加が必要。
- 多様な主体による生活支援サービスの提供に高齢者の社会参加を一層進めることを通じて、**元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍することも期待**される。このように、高齢者が社会的役割をもつことにより、生きがいや介護予防にもつながる。



任意団体「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会活動分野 「SDGs-4」 「SDGs-5」

社会教育法にもとづく「生涯学習支援活動」・・・「シニア・ハマ・カレッジ」



SDGs-4

教育は持続可能な開発にとって有効かつ効果的な手段の一つであると広く認知されており、心豊かに、自立した人生を送るためには必要不可欠なものと考えられています。**質の高い教育機会を得る**ことは、持続可能な開発を生み出すための基盤です。

「学びあう習慣」を地域市民に提唱し、
「主体的な市民力」を育む支援活動です。

SDGs-5 ジェンダー平等

出典：文部科学省

持続可能な開発のための教育（ESD）

活動の根拠：社会教育法⇒生涯学習社会創り ⇒ 現在
令和5年6月16日閣議決定「第4期教育振興基本計画」

持続可能な社会の創り手の育成

◆ 今後の教育政策に関する基本的な方針

— ② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す

共生社会の実現に向けた教育の推進

— 人生100年時代に複線化する生涯にわたって学び続ける学習者 —

学び続ける人材の育成

「地域共生社会」について

地域共生社会のポータルサイトー厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課

<https://www.mhlw.go.jp/kyouseisyakaiportal/> 2021/04/01 ・ 地域共生社会

令和3年4月1日

高齢化の中で人口減少が進行している日本では、福祉ニーズも多様化・複雑化しています。人口減少による担い手の不足や、血縁、地縁、社縁といったつながりが弱まっている現状を踏まえ、人と人、人と社会がつながり支え合う取組が生まれやすいような環境を整える新たなアプローチが求められています。



平成25年・26年（2013・2014）活動記録

平成25年 戸塚区役所共催「シニア快適ライフセミナー」



平成26年 おとなの放課後クラブ 鶴見線お出かけ



市民に学ぶ機会を提供し、「地域デビュー」を促し、実際に活動に踏み出す「支援」!!

2025年1月 新春シンポジウム

～超高齢社会をリードする～
「シニア・ハマ・カレッジ」
 新春シンポジウム 2025年に向けて
 令和6年度（第35回）フランスベッド・ホームケア財団 ボランティア活動助成金事業

100歳時代の**高齢者の居場所と出番**
 —高齢者相互支援社会創り—
2025年1月18日(土)午後1:00~4:30

◆◆人生100年時代！身近な地域とともに新しい長寿時代の過ごし方を考え合う時です。
 シニアの**経験・教養**は地域の宝、あなたを活かす具体的な生き方を描くための学びです◆◆

会場： 中区山下町・産業貿易センタービル 4F
 中区社会福祉協議会・多目的研修室

参加費： 1,000円 **定員：** 一般 50名（保育なし）

【基調講演】
**「長生きを喜べる長寿社会の実現に向けて
 ～何歳からでも輝ける！」**
 ニッセイ基礎研究所 ジェロントロジー推進室 上席研究員
 東京大学高齢社会総合研究機構未来ビジョン研究センター・客員研究員
前田 展 弘 氏

【横浜市の取り組み ポジティブ・エイジング】
 横浜市健康福祉局
 高齢健康福祉部 地域包括ケア推進課
 高齢者社会参加推進担当係長
椎 野 巧 氏

【高齢者の居場所と出番—高齢者相互支援社会創り】
 — 講師・参加者・主催団体 — 相互討論
「生き方が変わる学びあい」
 「居場所と出番」
 高齢者支援地域活動実践報告
 (H22～実践紹介)
 「シニア・ハマ・カレッジ」代表

(会場案内図、申込方法、**お知らせ**、問い合わせ：裏面)

主催：「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会
 後援 (社)横浜市社会福祉協議会



うまくお伝えできたでしょうか？

横浜×京畿道 ～国の違いを超えて地域をよくするために～

グループワークで、お話し合いしましょう!!



「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会

任意団体「シニア・ハマ・カレッジ」運営委員会 団体紹介のまとめ

1. 今後共「任意団体・ボランティア活動」として、活動します。
2. SDGsー3, 4, 5, に関する良質の活動に取り組みます。
3. 公開講座「学習の機会提供」の活動であり、時代の課題、多様なオリジナル企画を実現します。
4. **参加対象者は男女年代を問いません。実績20～90代男女。**
5. **運営委員会メンバーになりたい**問い合わせ歓迎！**
募集要件は「あなたの経験と知識・健康で優しい人」です。